

行事報告

女性研究者が手がける有機・高分子材料科学 ～放射光利用研究の現状と将来～開催

2007年6月1日(金)、普及棟中講堂にて、JASRI/SPring-8講演会「女性研究者が手がける有機・高分子材料科学 -放射光利用研究の現状と将来-」(協賛：(独)理化学研究所、(社)高分子学会、SPring-8利用者懇談会)が開催されました。本講演会は、有機・高分子材料分野の女性研究者の先端放射光利用と女性研究者間のネットワーク作りを促進する目的で企画されました。冒頭に、吉良理事長から、女流ではなく女性研究者としてサイエンスにおける活躍を期待しているとのことご挨拶がありました。協賛機関を代表して、高分子学会常任理事の高原淳教授(九大・先導研)と高田昌樹主任研究員(理研播磨研・JASRI)からのご挨拶の後、北村英男主任研究員(理研播磨研)、今栄東洋子特別研究教授(慶応大・理工)、栗原和枝教授(東北大・多元研)、龔劍萍教授(北大・理)、池田裕子准教授(京都工繊大・工芸科学)、毛利恵美子助手(九工大・工)、佐藤春実博士研究員(関学大・理工)、渡邊香織研究員(JST研究成果活用プラザ広島)、長谷川美貴専任講師(青学大・理工)、そして佐々木園副主幹研究員(JASRI)から、それぞれの研究成果と放射光利用について講演いただきました。また、女性研究者としてのあり方と社会参画との関わりについてのお考えも述べて頂き、昼食時間が足りなくなるほどの活発な議論が行われました。閉会にあたって、高分子学会男女共同参画委員長の栗原和枝教授が、女性研究者の存在意義と、積極的な本活動への今後の取り組みについて述べられました。参加者数は約40名で、懇親会を兼ねた昼食会と施設見学を行い、和やかな雰囲気の中で盛会のうちに終了しました。



第6回非弾性X線散乱国際会議 (IXS2007) 開催

2007年5月7日から11日の5日間、淡路夢舞台国際会議場(兵庫県淡路市)で第6回非弾性X線散乱国際会議(IXS2007)が開催されました。11カ国、53の大学・研究所等から、115名の研究者が集まりました。その内、18名が国内外の学生で、非弾性X線散乱研究分野の健全性を示しています。



非弾性X線散乱は基礎物理で重要な格子振動、電子励起、電子軌道、フェルミ面などを研究する実験手法です。SPring-8は非弾性X線散乱研究に最適な放射光施設で、8本のビームラインにおいて非弾性X線散乱の実験が活発に行なわれています。

会議では最新の研究成果が報告されました。プログラムは、実験手法別の総合報告に続いて、「水」、「強相関電子系物質」、「格子振動」、「非弾性X線散乱の研究フロンティア」、「電子状態」、「新技術と次世代光源」をテーマとした口頭発表と約70件のポスター発表がありました。会期中はSPring-8の運転停止期間と重なったため、SPring-8のスタッフとユーザーは議論に集中することができ、有意義な時間を過ごすことができました。

今後の 行事予定

- 高校生のためのサイエンス・サマーキャンプ
SPring-8内で行われる3日間のキャンプでは研究者の指導を直接受けながら体験実習を行います。
8月8日(水)～10日(金) (SPring-8)

実施した 行事

- 6月4日～8日 トライやるウィーク
上郡中学校の生徒10名がSPring-8で体験実習を行いました。生徒たちからは「一週間を通して、色々な体験をさせて貰い、たくさんの思い出や経験ができた。」と勤労する喜びと大変さを体験できた一週間となったようです。

施設見学の申し込み方法

見学のお申し込みについては、電話で広報室までお問い合わせ下さい。また、以下ホームページからもお申し込みいただけます。

(財)高輝度光科学研究センター 広報室

電話番号:0791-58-2785

ファックス番号:0791-58-2786

URL:http://www.spring8.or.jp/ja/support/contact/site_tour/